

あなたと多良間村議会をつなぐ



村議会だより

CONTENTS

12月定例会

- P.2 多良間中学生が議会の見学を終えての感想
- P.3-7 一般質問(登壇5名)
- P.8 議案審議結果・議会トピック(成人式)

村公式HPでも
読めます



29名の新成人





「議場は緊張感がすごかった」



多良間中学生が議会を傍聴

12月議会の一般質問時に、多良間中学校1年生8名と先生達が子ども議会に向けて議会を傍聴に訪れました。緊張した面持ちで、静かに会議の流れを見学していました。感想を頂きましたので、その内容をご紹介します。



議会傍聴を初めて見て、初めは何をするのかイメージがわからなかったけど、聞いているとセリや水納島について話していました。今度、自分もすると考えるとちょっと緊張しています。よろしくお願いします。

伊藤 秀一さん

質問の仕方や答え方を聞いて、たくさん質問をし、その答え方は全部敬語を使っていた。そして、一つ一つに意味があるものだという事が分かったのすごいいいと思いました。次は、自分達がやるので、きちんとやりたいと思いました。

清村 一生さん

初めて議会を見て、たくさん質問をしていたのすごいいいと思いました。その、質問を全部答えていたからすごいいいと思いました。次は、自分達が質問するので、頑張りたいです。

垣花 優里さん

初めて議会を見て、色んな事について分かったし、質問のやり方や答え方が詳しく分かった。子ども議会では質問をしっかりとできるようにしたいです。

渡口 怜羅さん

初めて多良間村議会をみて話の内容は難しかったけど、質問する時の仕方や答える時の仕方が分かりました。子ども議会では、今日見た事を活かして頑張りたいです。

伊良皆 望愛さん

みんな、敬語を使っていた。質問の仕方、答え方が分かった。子ども議会では頑張りたい。

西筋 陽斗さん

議会を見て、みんな敬語を使っていた、難しい言葉を使っていました。すごかったです。

濱川 悠伍さん

初めて議会を見て、質問の仕方などが分かりました。次来て質問するときは、しっかりとできるようにしたいです。

嘉手苅 一葉さん



今回傍聴した多良間中学校1年生の皆さんで、1月20日(水)にこども議会を開催しました。広報に内容を掲載する予定ですので、ご期待ください♪



とみはら やすのり
富原 安則 議員

問 村長選挙再出馬について

答 社会状況を見届け 判断する

■村長選挙再出馬について

来年の7月7日、村長任期満了となりますが、出馬意向を伺う前に、一言だけ申し述べたいと思います。

明治44年、多良間村の分村以降、村沿革史を調べてみましたが、重要な面だけ申し述べます。昭和40年、村長不信任案議決。昭和51年、村を相手取って起こした賠償請求裁判が行われております。現在、多良間村におきましては、伊良皆村長政権下では、令和元年12月12日、村長不信任案が提出されております。また、月島機械からの訴訟裁判、宮古製糖との使用料支払い問題、水納島裸用船等々、現村長政権は数多い諸問題を抱えております。村長のご苦労、心中はお察いたします。去る11月8日、沖縄タイムスで次期村長選挙に向け

て、既に村内におきましては、新人で立候補に意欲を示したとの記事が報道されております。以上を申し述べて、改めて村長の再出馬について伺います。

村長

任期満了があと7か月間となっております。今現在はコロナ禍で社会の変動が激しく、100年に一度の危機とも言われております。そういうことで、今現在はこの社会の状況を見届けるべきだというふうに判断をしております。

意見

村長が答弁されたことは想定内の答弁でございました。これまで2期間、村長の実績がいずれ物語る事になりますでしょう、実績が必ず近い

うちに証明されます。頑張ってください。村長への質問これで終わります。

■畜産セリ購買者誘致について

多良間村農家におきましては、キビ作に続き、畜産所得は農家の大きな経済普及効果となっております。しかし、残念ながら購買者の来島が少なく、宮古島競り価格と多良間村競り価格が1頭当たり10万円内外の安値で農家からの不満、苦情が多い。また、新型コロナウイルスが重なり全国的にも価格低迷が続き、飼料代等全て経費を差し引くと生活が厳しいとの声であります。ちなみに宮古島の10月セリ平均価格は60万7,000円であります。それに加え、多良間村の同時期のセリ平均価格が47万1,000円であります。多良間村のセリ価格は宮古島セリ価格に13万6,000円も安いセリ価格となっております。その要因は、購買者の参加が少なかったというところで12万円という大きな額の差が出ております。去る12月セリ平均価格は、宮古島が64万9,000円、多良間村のセリ平均価格が59万

8,000円となっております。そこで5万1,000円の安い価格となっております。その要因は購買者の数とその質だと農家の皆さんは語っております。今後の行政対策について、産業経済課長に答弁願います。

産業経済課長

4月からのセリ市で宮古島市との格差、4月で10万円、6月で5万円、8月で4万5,000円、10月で10万、12月の結果については宮古島市で64万9,000円、これ税抜きでございます。多良間で59万8,000円という5万1,000円、5万から10万内の差額が、これは我々多良間の市場と宮古島市の市場との差でございます。それに伴い、多良間の1頭当たりの平均体重は25キログラム、全セリの上等の中でも差がございます。以前からの課題となっております。購買者の数では、宮古島市のセリ市では30名程が競りに参加されております。多良間になりますと15名程が参加いたしております。



とみやま ただし 議員
豊見山 正

問

答

**広報9月号の「新製糖工場
事業費と使用料について」
の掲載意図は
広報の内容は、宮古製糖
との内容を村民に知らせ
るものである**

■新製糖工場事業費と
使用料について

広報たらま9月号に新製糖工場事業費と使用料について1ページを割いて掲載している。宮古製糖が村からの使用料金の提示に難色を示しているという文面になるが、どういう理由から難色を示しているのか説明がない。

村長

広報の内容は、宮古製糖との協議した内容を村民に知らせるもの。このような協議をして、これもまだ続いておりますよという内容の広報である。

質問

その内容の中で特に重要な部分である製糖工場側はどうして難色を示しているのかという部分が抜け落ちている。宮古製糖が難色を示す理由は4つあります。1つは、村職員、これは製糖施設係3名の人件費2,600万円余、2つ目に、工場用地賃借料1,400万円余、この件は、村が村営団地用地として使用している宮古製糖の土地との兼ね合いがある。3つ目は、月島機械への損害賠償金1億円。これについては、文書の中で、本来、計画どおりに工事が行われていれば支出されない費用であるためとなっている。4番目に弁護士費用648万円等。これらの費用の控除を要求しての協議内容である。直接会っての協議はされていないようで、文書でのやりとりで前に進まないようであるが、2年余も続いている。私は、異常だと思つて去る9月定例議会で、最近の使用料

の修正案が出されている。これは4番目の弁護士費用が削除されている。このことについて富原議員の質問に対し村長は、弁護士料は既に支払いされており、請求には入らないということで答弁しました。ところがその後質問に立った私に對しては、そういう答弁はしていないと否定された。私は後日、議事録を確認しましたところ、村長は確かに、「既に支払っているから請求には入らない」と答弁している。議場でのご自分の発言に對し矛盾したような発言、答弁、こういった言動に對し村長の釈明を求めたい。

村長

今の豊見山議員の発言は、前方の富原議員がおっしゃった質問の内容を見ない中での発言。ですから、前後を見てきたら、その言った内容というのは矛盾ではない。

質問

富原議員の疑問に對して精査という言葉を使われましたけれども、精査したところ今回の修正案には入れなかったという。そして、弁護士には既に支払われておりますので請求

には入らない。しかし、精査、精査を繰り返すばかりで、その精査の内容はおっしゃらない。精査がいかに理由のような答弁でありました。私があえてこの文書を問題にしているのは、宮古製糖がどうして難色を示しているのかという重要な事柄を隠し、使用料を安くしてあげているのに、どうして納得してくれないのかということをお村に印象づけようとしている気がするからである。いかにも宮糖側に落ち度があるような書き方をしている。

この内容について詳しく村民に知ってもらいたい。そういう意味で質問させていただきました。





もとむら けんじ
本村 健次 議員

問

普天間港ターミナル
の危険除去は

答

安全に利用できる
ように取り組む

■普天間港ターミナル倉庫に
ついて

現在、ターミナルの東側部分に事務所の庇が大きく落下している状況である。これは何年か前から見られている。今は危険ということ、通らないように、タイヤが置かれている。そういう状況が2、3年見えているが、管理はどうなっているか。

検討しております。
建て替えに関しては、耐震強度を行って、検討していきます。

提言

大きな膨張とかもあるので、しっかりと落とせる部分は落として、安全に利用できるように取り組んでいきたい。

土木建設課長

外壁周りの天井部分の剥離がありますので、修繕を今進めております。

質問

修繕が建て替えになるかと思うが、修繕であればどのような修繕か。

土木建設課長

天井部分なので、専門職の方で今

■水納島航路船の利用計画は

これまで議会側からも、要望として、水納島の方が利用するのはみんな納得している中で、月に2回か、3回チャーターではなく「水納島運航します、利用してください」と言うことが出来ないか提言してきたが、村長の答弁では、定期航路ではないため、できませんという答えだった。

しかし、6月定例会で同じような内容で予算計上されたが、できないと言われてきた中で同じようなことが計画されたのはどういう変化か伺う。

村長

私は、定期航路として、月に一度、二度とかは難しいというような話をしたというふうに覚えています。6月の議会については、試験という形で進めてみましょうという内容です。

質問

私は、定期航路でもなくチャーターでもなく一人幾らで定着できたら利益を上げながら運航できるんじゃないか。もしだめであれば、また別の方法を考えていけばいいのではないかという提言をしてきた。今、村長が言ったことは違うと思う。初めての試験であるので、乗客が少ない場合の補助である。ということは、うまくいかなければやめると言う事か。

村長

村民あるいは島外からの方も利用してもらような試験ですので、その試験によってしか判断できないということだと思います。

質問

いまだに陸揚げされたまま。この問題については水納島の方とはどういうふうな話になっているか。

総務財政課長

広報に載せたり、チラシを作ったり宣伝していくことで話をしてきたんですが、コロナ第2波ということで観光客がほとんど利用しない状況になっている中、コロナが終息した場合においては、水納島の方とも相談しながら、前向きに進めていく必要があると思っています。

質問

使い勝手がありよりよくないという話も聞いているが、修繕改善する部分が出た場合、経費についてはどのように考えているか。

村長

どの部分がどういった費用で改善できるか、詳しい内容は伺っておりません。今後、協議をして進めていくことになろうと思います。

提言

しっかりと相談されて、改善するところは改善し、安全に安心して運航できるように早急に取り組んでいただきたい。



あさと みきお
安里 三喜男 議員

高齢者対策（介護環境）について

今後、さらに進んでいくであろう高齢者対策や介護環境を取り巻く状況について、当局の考えや取組について伺う。

高齢者を取り巻く家族の状況は昔とは大きく変わっている。厚生労働省の資料によると、昭和30年頃の日本の平均世帯人数は5人以上であったが、現在は2人から2.5名に半減している。家族構成も3世代同居の世帯が55%から15%に減少し、それとは反対に高齢者夫婦のみの世帯が13%から30%と増加、高齢者単独の世帯（独居老人世帯）が8・6%から24%以上に増加していると言われている。

多良間村での一番の課題は、現場、施設（萌木の里）で働く介護従事者

問

答

介護従事者が増えない中、住民に危機感がないのはなぜか

講師を招聘したり、他市町の取組状況等も紹介しながら意識向上に務めている

の確保が厳しいことが挙げられている。現在、萌木の里のスタッフは25人中、50代から60代の方が全体の6割を占めている。新規就労者が少ない中、今後10年先、15年先は大丈夫だろうか。等々の問題提起もされている。その中で、生活支援の外部化に向けた取組という提言がある。現在、萌木の里の職員が行っている業務の一部を非専門職で支える必要がある。そこで、非専門職でも代替できる業務とは何か。

住民福祉課長

まず村内の高齢者の買い物への付添い、あと高齢者の住宅の庭木の剪定、庭の除草作業、配食と見回りサービスと一緒にを行うサービスなどがある。生活用品や食料等の宅配及び見回りを一緒に行うサービスなどが考え

られます。

これまで指定を受けた事業者しか介護サービスを提供できなかったが、この総合事業では民間企業やボランティア団体など市町村から指定を受けて委託や住民主体のサービスなどで事業の担い手として参加できるようになったことです。

質問

関連して、事業報告書には、現在の萌木の里の3つのサービス機能（通所介護サービス、訪問介護サービス、短期入所サービス）が柔軟に組み合わせられ、うまく機能しているとの報告もある一方、先ほどの萌木の里スタッフ状況でもあったように、介護職員が増えない中、危機的な状況を住民（村民）が理解していないとの指摘もされている。住民の理解が得られないのはなぜか。どのような取組がされてきたのか伺う。

住民福祉課長

これまで、平成二十九年度から住民への集会での説明会や、介護ゼミナールを、担当職員が講師を招聘したり、他市町村の取組状況等も紹介して開催しております。その中で、

健康増進、介護予防への取組についても、住民の意識向上を行ってきた。特に、この人口減少問題の話をしながら、将来、介護の担い手が不足し、介護を受けられなくなるかもしれないとか、そういう危機的な状況もお話ししながら、この住民勉強会では情報を提供し、危機感を共有してきたと思っております。それで、この健康増進と介護ゼミナールで行ってきた参加者には、それなりに危機的状況というのは認識しているものと考えております。

今年度は、その住民学習会、介護ゼミナールはコロナ関連でまだ開催されていませんが、これまで29年から3年間行ってきたとおりです。で、引き続きそういった介護ゼミナールを通して今後の学習会の実施方法を考えながら、また学習会に代わる住民への介護に対する情報を周知、共有できるように検討していきたいと考えています。





ふくみね つねお 福嶺 常夫 議員

問

多良間―石垣の

航空線の運航再開は

栗国路線が再開する

事で可能性がある

答

■新型コロナウイルスの陽性者が発生した時の対策について

村内で陽性患者が発生した時の対策について伺う。

村長

多良間村では検査ができないので、体調によって軽症なのか重症なのかを判断して軽症の場合はフェリーで宮古島に輸送をする。重症な場合は、海上保安庁の急患ヘリを要請し、そして即沖縄本島へ運ばなければいけないというような患者が判断された場合は、自衛隊を要請するという、この3段階に分かれている。

■畑地かんがい施設整備について

近年は気候変動が大きく、植付け適期とかそういう時期に雨がいない状

態が続いている。そういう中、安心して農業ができる農業用水の確保が必要だ。早期のかんがい施設の実施、かんがい排水事業の状況を伺う。

土木建設課長

令和元年度現在、地下水治水施設20基、用水路21キロ、集水路12・2キロ、水管理施設としてポンプ等施設の稼働状況を把握し管理をしている。施設は、パイプハウス等導入して実施している。中山間地向上支援対策事業で13棟導入予定となっている。

■多良間―石垣の航空路線の運航再開について

長期に渡って多良間―石垣の航空路線が運休をしている。県に要請されている状況、対応について伺う。

村長

予定としては、来年度中に栗国路線を再開したいという予定であり、今後、多良間―石垣、石垣―波照間、これも栗国路線が再開することによって可能性として近くなる。これはまだ県との詳しい協議については進められていない。

■中学校全天候グラウンドの利用活用について

①立派なグラウンドで、これからどういうふうな体制で取組をするのか伺う。

②新グラウンドでの記念大会として、陸上競技選手権大会を開催してはどうでしょうか。

教育長

①村民の交流や運動等健康増進活動の拠点として活用を図ってきたい。また、島外からは、高等学校、大学、実業団等の体育系クラブの合宿等の活用を図ってきたい。
②教育委員会だけでは動けないので、体協と調整をし、小中も含めてどういう形で出来るかというのを参

考にさせていただきたい。

質問

①今年度の施策事業として、1年間の取組状況を伺う。

②次期村長選挙出馬に向け、これから新しい村づくりの目標、施策についてどのように取り組むのか伺う。

村長

水あり農業は、島の活性化、それから定住促進、雇用創出、全てにつながると思うので、事業実施に向けて進められていくという段階になっている。期待を持って進めていきたい。教育面については、ずっと続けている村営塾、それから給食費の無料化等をこれからも続けていく。介護については、今後、高齢化になっていくが、高齢化になっても健康を維持して頑張れる村づくりを進めていきたいと思う。

意見

島づくりはみんなで考えてやる行政だと思う。村長選挙出馬についてのお話は、村民も、村長はどういうふうに考えているのかを公表してもいい時期じゃないかということでした。



審議結果を多良間村
公式HPで確認できます。

第4回定例会審議結果

審議した件名	概要	結果
令和2年度多良間村一般会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算額から34,886万円を追加し、総額43億9,238万円とする。	原案可決
令和2年度多良間村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算額から85万円を追加し、総額1億5,501万円とする。	原案可決
令和2年度多良間村介護保険特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算額から66万円を追加し、総額1億5,859万円とする。	原案可決
令和2年度多良間村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算額から116万円を追加し、総額1,204万円とする。	原案可決
多良間辺地に係る公共的施設の総合整備計画（第8次計画）の変更について	辺地に係る公共的施設の総合的整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和37年法律第88号）第3条の規定による。	原案可決
多良間村手数料徴収条例の一部を改正する条例	屋外広告物条例の沖縄県から多良間村への権限委譲により、多良間村手数料徴収条例の一部を改正する必要があるため。	原案可決

議会トピックス

2020年12月定例会

令和3年成人式
おめでとうございます



晴れの門出を迎えた新成人（29人）が大人の仲間入りを果たしました。

新たな決意と自覚を胸に、大人として新たな一歩を踏み出します。



編集後記

11月2日、全天候型グラウンドの竣工式が行われました。

子ども達の競技力向上はもとより、一般村民の健康増進にも大いに利用していただきたいと思います。一般の利用者も増えてきていますが、まだ少ないです。ナイター設備も充実していますのでウォーキング・ジョギングも安全に安心して行えます。体力の衰えは足からと言います。

宝の持ち腐れにならないように、みんなで有効利用し、スポーツの多良間島、健康な多良間島にしていきたいものです。



議会広報委員
本村 健次